

土木工学・建築学委員会（第25期・第13回）

議事要旨

I 日 時 2023年3月14日（火）10：00～12：00

II 会 場 遠隔会議

委員：小林潔司、田辺新一、佐々木葉、竹内徹、
池田駿介、沖大幹、小池俊雄、塚原健一、林春男、古谷誠章、前川宏一、米田雅子
下線は欠席

配布資料

資料1 分科会報告（所定様式）

資料2 IRDR 分科会提言・チェックシート

資料3 気候変動と国土分科会 シンポジウムアンケート結果

資料4 デザイン分科会 公開シンポジウム報告

資料5 脱炭素分科会報告

資料6 感染症分科会 公開シンポジウム報告

III 議 事

冒頭に小林委員長より意思の表出にむけての協力依頼の挨拶があった。

1) 小委員会および分科会からの活動報告

資料1に基づいて、意思の表出を今期行わない分科会からの報告がなされた。

・WFEO 分科会

塚原委員より、資料1に沿ってWEFOの会議、活動状況が報告された。また災害リスク委員会のホスト国を日本にする打診が始まっており、正式決定に向けて受け入れ学協会との調整を進めていくことが報告された。

- ・デザイン分科会

佐々木委員より、資料4にそって2月4日に開催された公開シンポジウムの開催状況、参加者アンケートの概要が報告された。今後もこうした公開の議論の場も重ねながら、成果にむけて活動してく予定であることが示された。

- ・感染症分科会

竹内委員より、資料1および資料6にそって1月22日に開催された公開シンポジウムの開催状況、参加者アンケートの概要が報告された。意思の表出については、連絡会で行うこととなっているため、本分科会としての意見のまとめについて公開シンポジウムの中で言及したことも報告された。

2) 意思の表出を行う分科会からの申出書等の確認

- ・IRDR分科会

林委員より、資料1および資料2にそって、分科会の活動状況と提言の査読状況について報告された。今後の活動としては、9月7、8日に提言題目と同じタイトルで関東大震災100年を踏まえた国際会議を開催する予定である。

- ・気候変動と国土分科会

池田委員より、資料1にそって提言に対する査読の状況について報告された。また資料3にそって3月8日に開催した公開シンポジウムの概要とアンケート結果が報告された。アンケート結果からも今後取り組むべき課題が見えてきた。

シンポジウムに参加した田辺委員より、内容が大変すばらしく、土木と建築、関連分野の連携の重要性が改めて認識されたとの感想が示された。

- ・インフラ高度化分科会

小林委員より、資料1および提言書案の画面共有によって、現在の状況報告、提言内容の説明、今後の予定説明が行われた。

これに対して米田委員より、第1部第2部の査読者、一般の人の目から見ると、抽象的にわかりづらい点があるのではないかと、議論の前提となることを具体的に指すなどの工夫が必要なのではないかと、という意見が示された。

これに対して小林委員から分科会メンバーに伝え、検討する旨の回答が示された。

- ・脱炭素分科会

田辺委員より、資料1および資料5にそって、報告として提出する内容について説明と査読の状況が報告された。米田委員より報告についても部で査読がおこなわれるため、その手順の確認が必要との指摘があった。

なお、全体に対して米田委員から、意思の表出については、査読が極めて慎重に行われている状況が報告された。

3) その他

小林委員長より、グランドビジョンの作成に関する議論の状況が報告された。これに関連して、分野によって取り組み状況がかなり異なることは兼ねてからの課題であるなどの意見交換が行われた。

米田委員より、法の改正に係る現在の状況などが報告された。

今後については、第14回 2023年5/29(月)15~17時、第15回(仮)2023年9/20(水)10~12時が予定されていることが確認された。

以上